



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社シノプス 上場取引所 東
コード番号 4428 URL <https://www.sinops.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 C O O (氏名) 岡本 数彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 C F O 管理部管掌 (氏名) 久保 祐 TEL 06 (6836) 5780
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の業績 (2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	483	6.5	26	△39.4	42	△5.7	29	△5.0
2025年12月期第1四半期	454	17.6	43	438.0	44	461.5	31	550.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	4.74	4.74
2025年12月期第1四半期	5.00	5.00

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,223	1,868	84.0
2025年12月期	2,438	1,898	77.9

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,868百万円 2025年12月期 1,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期 (予想)	—	8.00	—	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,344	14.9	390	26.1	392	25.7	272	25.3	43.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	6,259,000株	2025年12月期	6,259,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	30,802株	2025年12月期	13,105株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	6,240,786株	2025年12月期 1 Q	6,228,627株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで開示するとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

a. 経営環境

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、継続する物価上昇、地政学リスクや不安定な為替相場、イラン情勢の影響の懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社の主要顧客である小売業においては、労働需給の逼迫や賃上げ圧力の高まりなどによる人件費・物流費の上昇や、業種業態を超えた顧客の獲得競争に加え、益々多様化する消費者ニーズへの対応が引き続き求められており、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。さらに、物流業界での「2024年問題」により食品流通の持続性確保に向けた課題への対応が本格化し、持続可能な開発目標（SDGs）の採択に基づいた食品ロス削減運動も引き続き社会課題としての対応が求められております。また、生成AIによるSaaS全般への影響が懸念されているものの、当社のサービスは人の運用・判断に密接にかかわっているため生成AIに代替される可能性は低いと捉えております。そのため、当社の需要予測・自動発注サービスに対するニーズは引き続き高く、さらに需要予測に加えて、人手不足・物流課題の対応に向けた業務効率化のためのIT投資についても増加していくものと見込まれます。

このような環境の中、当社の導入実績は、2026年3月31日時点でARR（注1）は1,593,246千円（前年同期比15.0%増）、食品スーパーシェア率は37.2%（同0.5pt増）、小売業全体でのシェア率は19.1%（同0.2pt増）（注2）、契約企業数は121社（同1社増）、クラウドサービスの有償店舗数3,317店舗（同102店舗増）（注3）、クラウドサービスの有償アカウント数は13,496アカウント（同1,083アカウント増）（注4）に増加しております。当第1四半期累計期間における売上高は483,725千円（前年同期比6.5%増）、営業利益は26,500千円（同39.4%減）、経常利益は42,041千円（同5.7%減）、四半期純利益は29,566千円（同5.0%減）となりました。

また、前事業年度に引き続き、需要予測分野に加え、中長期の新しい収益の柱とすべく事業領域を拡大する施策も進めております。食品ディマンドチェーンマネジメント構築については、伊藤忠商事社と共同で提供している「DeCM-PF（ディーシーエムプラットフォーム）」の収益拡大を図るとともに、経済産業省の補助事業である「持続可能な物流を支える物流効率化実証事業」をはじめ、最終的にメーカー物流最適化を行うための段階的な機能拡大も進めております。小売業の人時生産性改善・向上を目的とした人的資源最大化AIサービス「sinops-WLMS（シノプス ダブルユーエルエムエス）」シリーズについては、既存・新規ユーザーへの提案、実証実験を行い、収益化への取組みを着実に進めております。

（注1）Annual Recurring Revenueの略語。2026年3月末時点のMRR(Monthly Recurring Revenue)を12倍にして算出。MRRは対象月の月末時点における有償契約ユーザー企業に係る月額料金の合計額（一時収益は含まない）。

（注2）シェア率は、sinops契約企業の年商÷ターゲット企業の年商で算出。食品スーパーシェアのターゲット企業は、売上400億円以上の食品スーパー。小売シェアのターゲット企業は、コンビニ・百貨店除く売上400億円以上の小売業（連結子会社は子会社の本社地域で集計）。

（注3）有償契約でクラウドサービスを利用している店舗数（旧レンタルサービス利用店舗、有償の短期間クラウド契約を除く）。

（注4）有償契約しているクラウドサービス利用数（旧レンタルサービス、有償の短期間クラウド契約を除く）。

b. 経営成績の分析

(単位:千円)

	2025年12月期 第1四半期累計期間	2026年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	454,216	483,725	29,508	6.5%
パッケージ	32,117	3,775	△28,342	△88.2%
導入支援	69,820	56,461	△13,359	△19.1%
サポート	96,836	112,051	15,215	15.7%
クラウド	255,442	311,437	55,994	21.9%
売上原価	263,914	305,089	41,174	15.6%
売上総利益	190,302	178,636	△11,665	△6.1%
販売費及び一般管理費	146,548	152,135	5,587	3.8%
営業利益	43,753	26,500	△17,252	△39.4%

	2025年12月期 第1四半期累計期間	2026年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
経常利益	44,597	42,041	△2,556	△5.7%
四半期純利益	31,124	29,566	△1,557	△5.0%

①売上高

クラウド売上高は、既存ユーザーへのアップセルやクロスセルが主要因となり、311,437千円（前年同期比55,994千円増・21.9%増）となりました。サポート売上高は、既存ユーザーの店舗追加が進んだことやユーザーの企業統合に伴うサポート作業売上増加が主要因となり、112,051千円（同15,215千円増・15.7%増）となりました。導入支援売上高は、クラウドサービスの新規導入や既存ユーザーへのクロスセルにより受注状況は概ね計画通りに推移しているものの、導入時期の兼ね合いから、56,461千円（同13,359千円減・19.1%減）にとどまりました。パッケージ売上高についても概ね計画通り推移しており、既存ユーザーの店舗追加があったことが主要因となり、3,775千円（同28,342千円減・88.2%減）となりました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は483,725千円（同29,508千円増・6.5%増）となりました。

②売上総利益

当第1四半期累計期間は、クラウドサービスの展開に伴い製造部門の社員数が増加したことやクラウドサービスの利用ユーザーの増加に伴い通信費が増加したことが主要因となり、売上原価が前年同期比41,174千円増加（前年同期比15.6%増）となりました。その結果、売上総利益が178,636千円（同11,665千円減・6.1%減）となりました。

③営業利益・経常利益

当第1四半期累計期間は、協力会社を活用した業務効率化のための外注費が増加したことが主要因となり、販売費及び一般管理費が前年同期比5,587千円増加（前年同期比3.8%増）となりました。その結果、営業利益が26,500千円（同17,252千円減・39.4%減）、経常利益は42,041千円（同2,556千円減・5.7%減）となりました。

④四半期純利益

当第1四半期累計期間における四半期純利益は29,566千円（前年同期比1,557千円減・5.0%減）となりました。

なお、当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産

当第1四半期会計期間末における総資産は2,223,511千円（前事業年度末比214,554千円の減少）となりました。主な要因は、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェア開発仮勘定が34,914千円増加した一方で、現金及び預金が104,220千円、売掛金が118,867千円、ソフトウェアが31,311千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

②負債

負債は354,718千円（前事業年度末比184,993千円の減少）となりました。主な要因は、賞与引当金が45,063千円増加した一方で、未払法人税等が102,640千円、流動負債のその他に含まれる未払金が61,226千円、契約負債が42,052千円、未払消費税等が19,341千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

③純資産

純資産は1,868,792千円（前事業年度末比29,560千円の減少）となりました。主な要因は、四半期純利益として29,566千円を計上した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が49,967千円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の業績予想につきましては、2026年2月12日の「2025年12月期決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300,070	1,195,850
売掛金	306,695	187,827
有価証券	99,370	99,440
仕掛品	26,112	35,905
その他	146,044	156,661
流動資産合計	1,878,293	1,675,685
固定資産		
有形固定資産	39,017	37,324
無形固定資産		
ソフトウェア	338,315	307,003
その他	416	35,323
無形固定資産合計	338,731	342,326
投資その他の資産	182,023	168,175
固定資産合計	559,772	547,826
資産合計	2,438,065	2,223,511
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,157	17,796
未払法人税等	105,891	3,250
賞与引当金	—	45,063
製品保証引当金	5,282	4,871
受注損失引当金	1,249	1,233
その他	401,134	277,425
流動負債合計	534,714	349,640
固定負債		
退職給付引当金	4,996	5,077
固定負債合計	4,996	5,077
負債合計	539,711	354,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,180	429,180
資本剰余金	389,610	389,610
利益剰余金	1,091,797	1,071,396
自己株式	△11,820	△21,012
株主資本合計	1,898,768	1,869,175
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△668	△561
評価・換算差額等合計	△668	△561
新株予約権	254	179
純資産合計	1,898,353	1,868,792
負債純資産合計	2,438,065	2,223,511

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	454,216	483,725
売上原価	263,914	305,089
売上総利益	190,302	178,636
販売費及び一般管理費	146,548	152,135
営業利益	43,753	26,500
営業外収益		
受取利息	571	969
補助金収入	—	10,456
為替差益	—	4,948
その他	543	28
営業外収益合計	1,114	16,402
営業外費用		
譲渡制限付株式報酬償却損	116	656
その他	154	205
営業外費用合計	270	861
経常利益	44,597	42,041
特別利益		
新株予約権戻入益	—	75
特別利益合計	—	75
税引前四半期純利益	44,597	42,116
法人税、住民税及び事業税	13,697	209
法人税等調整額	△224	12,340
法人税等合計	13,473	12,549
四半期純利益	31,124	29,566

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	30,454千円	33,012千円

(セグメント情報等の注記)

当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。